

「人生において最もつらいことは何か」と問われたら、私は「目標を失ったまま生きること」と答える。そういう時期を、これまでに二度経験した。

一度目は、大学入学後の二年間である。「自分が考えていた学生生活と何か違う」という思いをいつまでも拭いきれず、ここでは自分のやりたいことはできないのではないか、そもそもやりたいこととは何だったか、いっそ宮崎に帰ろうか、でも親はきっと認めてくれない、などと悩み続けた。私にとって19、20歳はまさに「人生の闇」だった。しかし大学も3年目、就職のことを考えるにあたり、「(専攻学科は日本史だけれど)やはり国語に関わる仕事に就きたい」と思い、そのための授業を受け始めた頃、漸く進むべき道が見えてきた。

二度目は5年前、県北の普通科高校から児湯郡の専門高校に転勤した時である。それまで、進学受験指導が仕事の中心だったのに対し、大学の一般入試を受ける生徒はゼロ、教科指導より生活のしつけが先、と環境は大きく変わった。赴任して暫く、自分の軸足が定まらないことが何よりもつらかった。教科指導をもっとしっかりやりたい、でも就職試験で問われるのはほとんど漢字力、私がここにいる意味は？何のために仕事をするのか？通勤途中にも頭の中で堂々巡りを繰り返す—しかしそのうち、これがいかに自分本位な考えか思い至る。自分はこうしたい、自分のやりたいことはこう、そればかりではないか。送り出した生徒達は皆、社会のためにとか、お客さんのためにとかいう動機で進路を選択していったのに。なんと情けない私。こうしてまた負の脳内スパイラルから抜け出せない。

そんな時、かつて教科担をしたこの学校の卒業生が、臨時講師として同じ部屋で働くことになった。教え子が教師の楽屋裏に公然と入ってくるようで、最初はとても嫌だった。おちおち馬鹿話もできん、と思った。ところが、彼女がおぼつかないながらも仕事に慣れ、周囲から頼られる存在になっていくのを、無性に嬉しく思う自分がいるのである。ああ、この仕事を続けていく上での私の目標は、これかもしれないと思った。

冒頭の質問。「人生において最もつらいことは何か」目標を失ったまま生きること。

「では、今の目標とは何か」それぞれに進んだ道で認められて輝く生徒をつくること。

2010年もあと10日余りで暮れる。新たな年、あなたの目標は何ですか。

(3組担任 T・K)

週行事予定表 (12/11~12/31)

月	日	曜	行事予定	課外	備考
12	17	金	教科会・学年会(成績審議)	C	7:25 着席
12	18	土	寿太郎講座(3年希望者)		8:00登校 8:20開始
12	19	日			
12	20	月	職員会議(成績・反省)	A	7:25 着席
12	21	火	学力検討会(1・2年)	A	7:25 着席
12	22	水	終業日 学習相談会(午後) 進路内定者集会(3年)		
12	23	木	天皇誕生日		
12	24	金	冬季課外		課外時間帯は後日連絡
12	25	土	冬季課外		
12	26	日	宮崎東高校スクーリング		
12	27	月	冬季課外		
12	28	火	冬季課外		
12	29	水	年末休暇 北予備プレテスト(3年)		
12	30	木	年末休暇 北予備プレテスト(3年)		
12	31	金	年末休暇		
1	1	土	元旦		
1	2	日			
1	3	月	年始休暇		
1	4	火	センター課外(3年)		
12	5	水	センター課外(3年)		
12	6	水	センター課外(3年)		
12	7	木	始業日 第5回実力養成考査(1・2年) 第3回進路希望調査		
12	8	金	土曜講座(1・2年)		
12	9	土	宮崎東高校スクーリング		
12	10	日	成人の日		